

コーディネーターの視点

よみがえれ長良川実行委員会 共同代表 粕谷志郎

コーディネーターの視点①

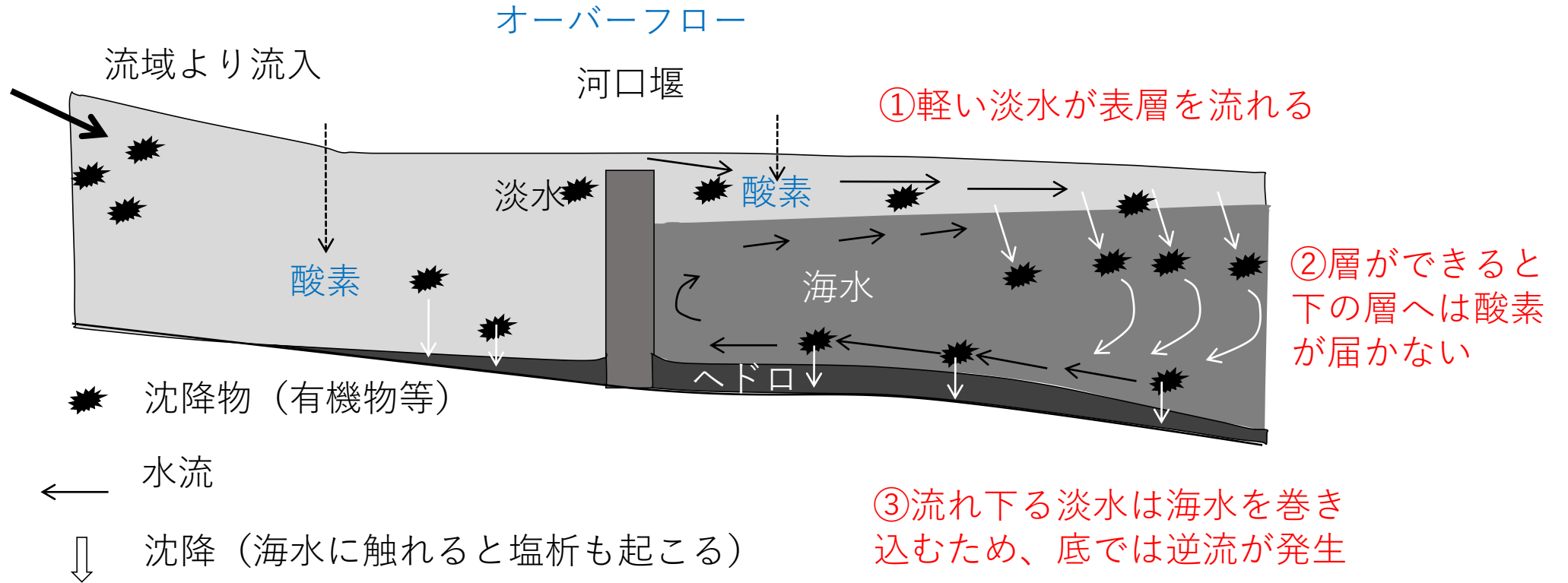


図1. 河口堰によって生ずる物理的变化
(オーバーフロー)

コーディネーターの視点②

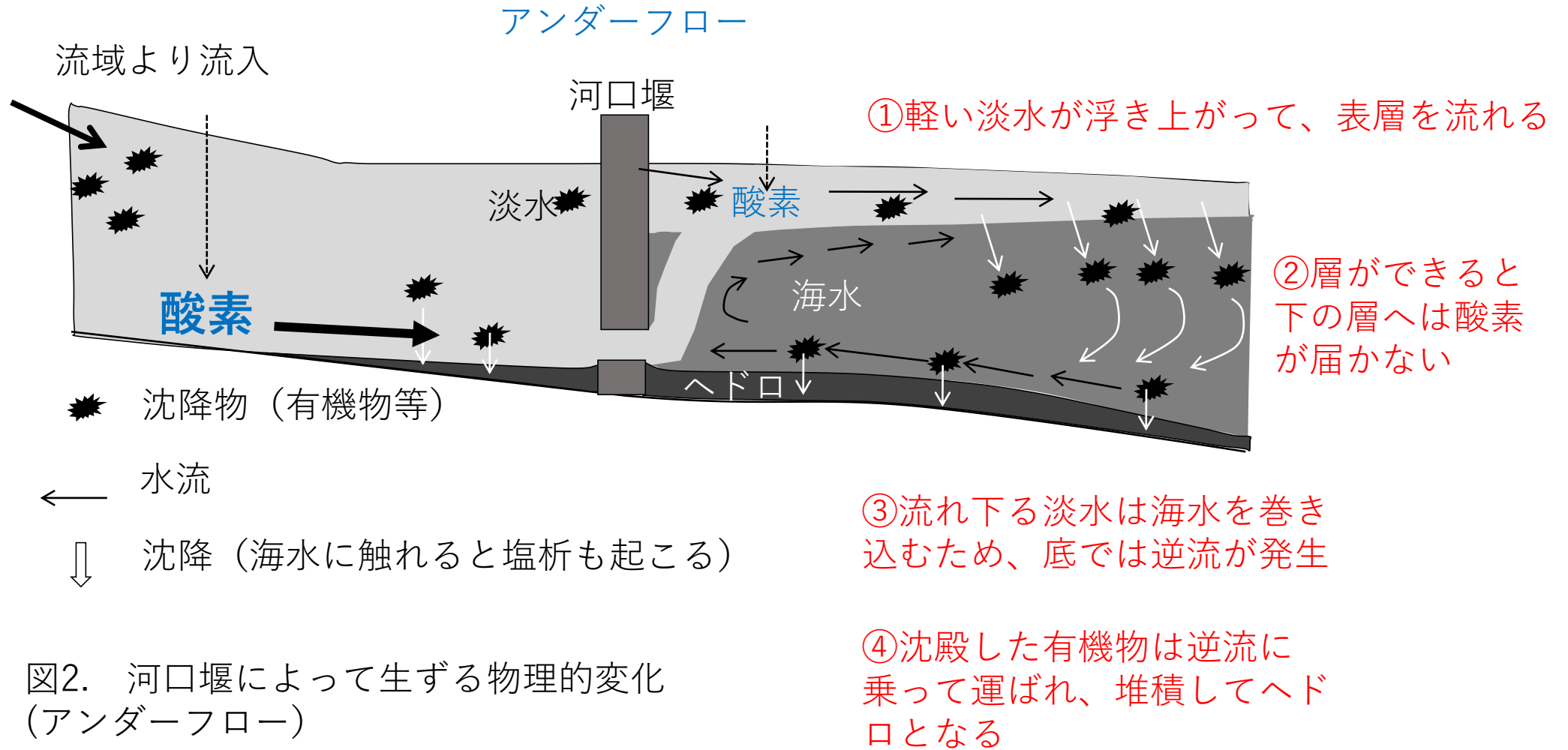
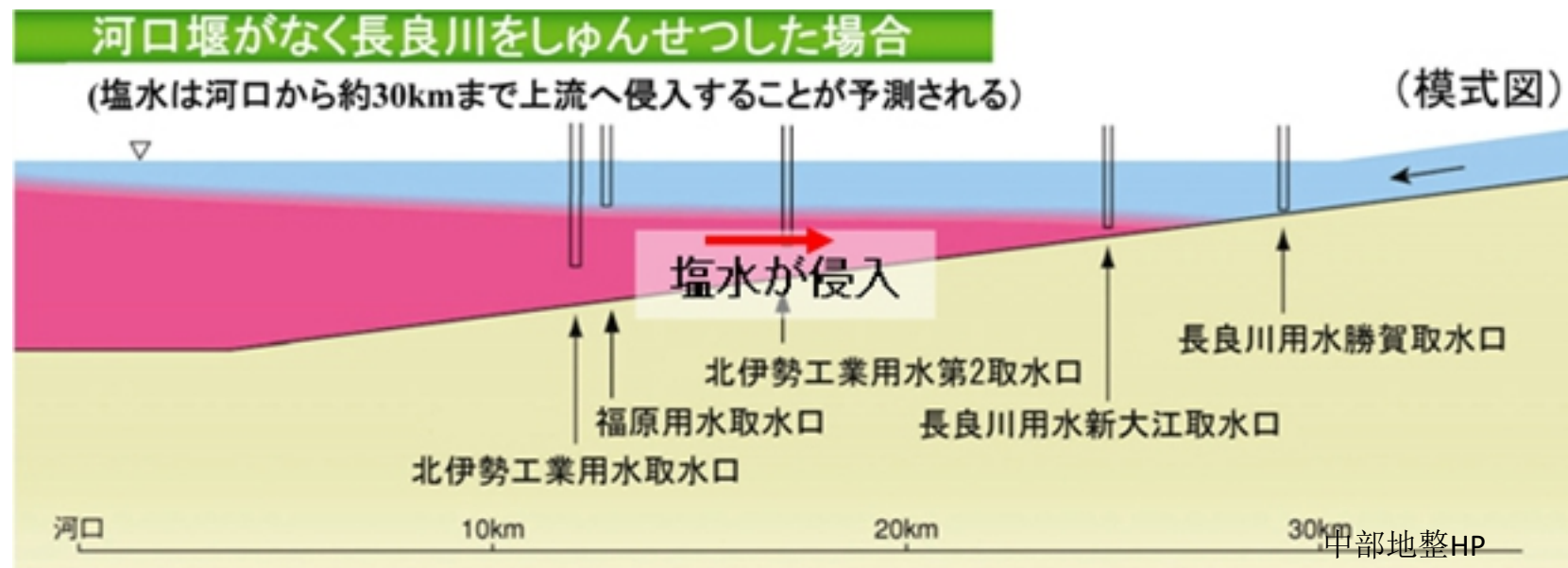
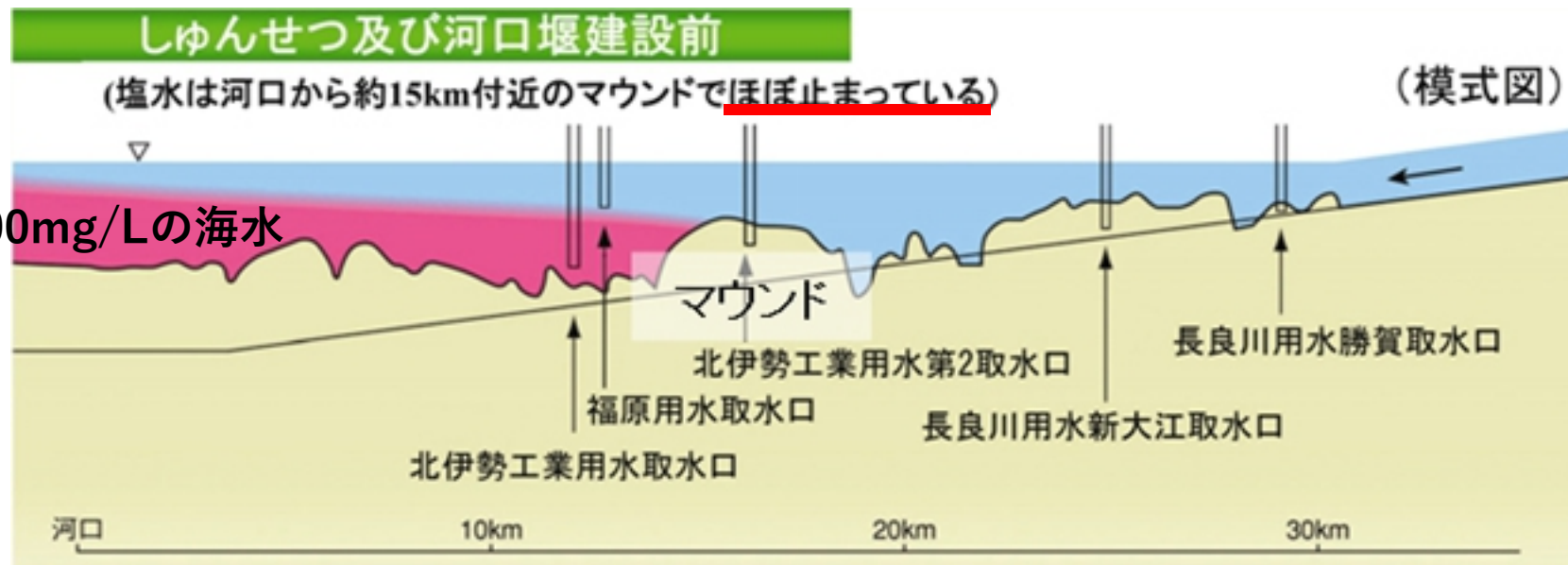


図2. 河口堰によって生ずる物理的变化 (アンダーフロー)

水資源機構の塩水遡上シミュレーション

塩化物イオン濃度18,000mg/Lの海水



コーディネーターの視点⑤

塩水はマウンドを遙かに超えて遡上していた

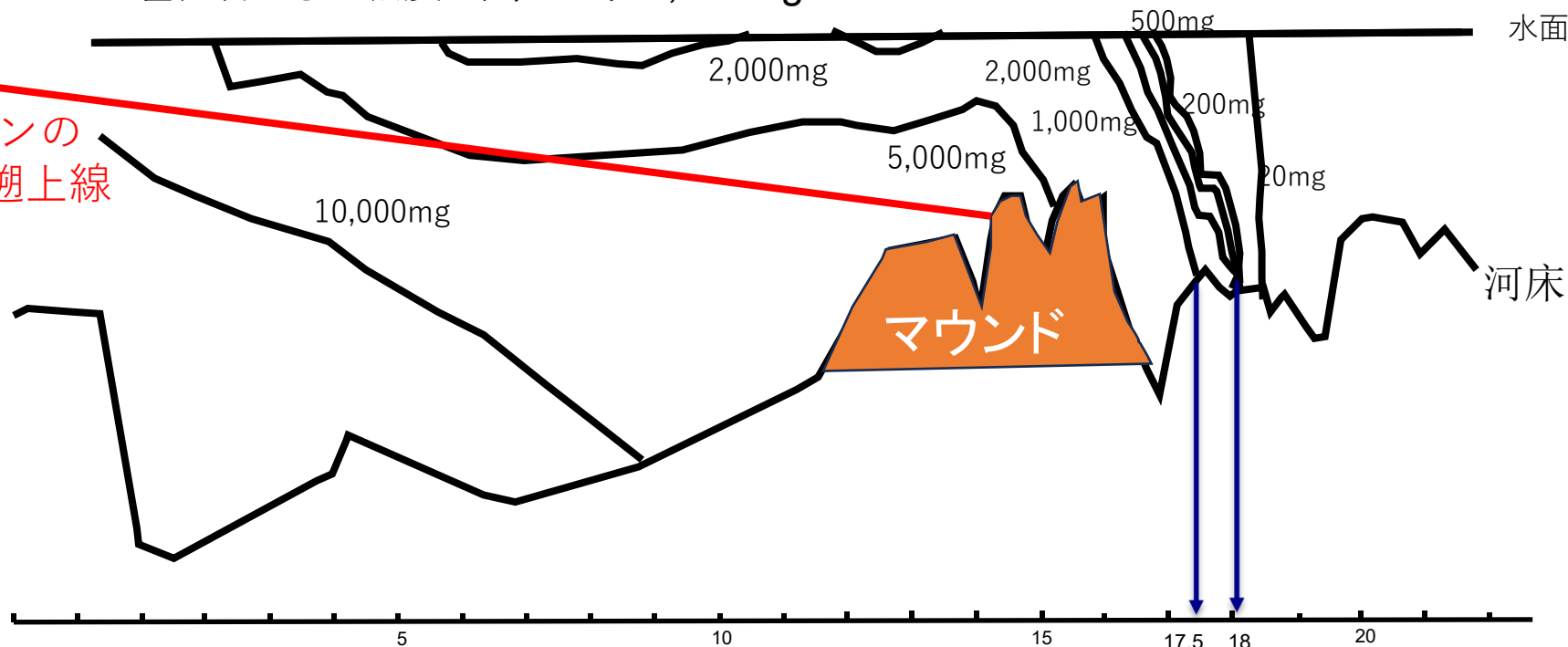
ただし、相当に薄まりながら

塩化物イオン濃度18,000mg/Lの海水は何処にも見当たらない

マウンド撤去前

塩化物イオン濃度:海水は約18,000mg/L

シミュレーションの
18,000mg/Lの遡上線



| | |
|-------|----------------------|
| 調査年月日 | 平成6年11月11日 |
| 天気 | 晴 |
| 潮汐 | 小潮・満潮時 |
| 墨俣流量 | 約35m ³ /S |

墨俣流量 35 m³/s

